



アロマセラピスト

野口^{はるか}春香さん(下竹田)

子どもの頃、お母さんの肩をよくマッサージしていたという春香さん。その時から、「人に何かをしてあげる」ことの喜びを感じていたという。13年前、リフレクソロジーのスクールに通い始め、今日に至るまで数々の資格を取得し、昨年10月に念願のお店を自宅1階にオープンさせた。

好みの香りに包まれながら心身の疲れを癒すアロマボディトリートメントなどで、訪れた女性に深い安らぎと優雅なひとときを与えている。

(11月30日 Aroma salon Springにて)

働く
姿勢

告知板

天体望遠鏡 操作体験会

ミラ・フード館では、天体望遠鏡に興味のある方を対象に「天体望遠鏡 操作体験会」を初めて企画しました。天体望遠鏡や天体観測に興味のある方はこの機会にぜひご参加ください。

日時 1月9日(土)、2月6日(土)
午後7時から
場所 ミラ・フード館
対象 どなたでも参加できます
(ただし、未成年の方は保護者の同伴が必要です)
申込み 事前の申し込み、参加費は必要ありません。

ヨガ教室開催のお知らせ

日時：1月21日・2月4日・18日
3月3日・3月17日
いずれも木曜日 午後7時30分～
場所：トレセン ふるさと大ホール
対象：村内在住及び在勤の方
参加料：無料
持ち物：ヨガマット又はバスタオル 飲み物
申込期間：1月13日(水)まで
詳細は、山形村教育委員会まで
98-3155

年末年始の休館情報

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、図書館の年末年始の休館についてお知らせします。
【休館日】 12月28日(月)～1月4日(月)

11月12日(木)、山形小学校持久走大会が絶好のコンディションの中開催されました。児童たちは日ごろの練習の成果を發揮しようと張り切って校庭をスタート。ゴール前では保護者の大声援に後押しされ、いつも以上の力強い走りを見せていました。



激走！持久走大会



11月14日(土)、15日(日)に開催された、第64回長野県縦断駅伝競走に高安結衣さん(上大池)が塩尻東筑木曾チーム代表として第13区(2km)に出場し、見事6分38秒の記録で区間1位に輝きました。年間を通して活躍が続いた結衣さん、来年の活躍にも期待です。

快走！県縦断駅伝



11月22日(日)ふれあいドームにて、元巨人軍の淡口憲治さんによる少年野球教室が開催されました。参加した選手たちは淡口さんの熱心な打撃指導を受けバットスイングにはいつも以上の力がこもりました。

山すそ

11月末、山形キヨミズでの活動を終える6年生たちによる卒団前の伝統行事、バスの徹底清掃が始まった。キヨミズの活動

はとにかく濃く、練習量は県内屈指だ。が、本当の凄さはチームの足であり家でもあるマイクロバス、通称「キヨバス」にあると確信している。そのクラシックな存在感もさることながら、年代物とは思えない機動力が凄い。県外遠征・高速走行は得意分野だ。空調無しで過酷だが、子どもたちはケロッとしている。仲間同士、食べて寝て遊んで喧嘩して、ついでに叱られてを車内で繰り返しながら逞しく育っていく。今年の早起き野球個人タイトルを、2人のキヨミズOBが獲得した。彼らもキヨバスで育ったメンバーだ。高校野球を経て社会人となり、純粹に野球を楽しむ姿を眺めていると、生まれ育った川に戻った鮭を見ているようで微笑ましい。そんな彼らにとつての母なる川のひとつは、「キヨバス」なのでは、と思うのは自分だけだろうか。



福祉のつどい

12月12日(土)、いちいの里で山形村社会福祉協議会主催、福祉のつどいが開催されました。「未来の子どもたちにつなぐふるさと」をテーマに、シンポジウムが行われました。その他、復興支援バザーや岩手県物産展、子ども用品リサイクル、就労支援センターするの雑貨販売などが行われ、大勢の来客で賑わいました。

11月29日(日)、下大池公民館で人権週間にあわせ人権講演会が開催されました。講師に村の人権擁護委員の中村哲久さん(上大池)を招き、「女性の人権について」と題した講演で区民約30人が学習しました。日頃あまり聞くことのできない話に参加者は耳を傾けていました。



ナイトライブラリー

11月13日(金)・19日(木)・25日(水)、ナイトライブラリーが開催されました。第二夜は「たいせつなもの」をテーマに、語りと絵本の読み聞かせが行われ、より物語の世界に入り込んでもらえればと、電気を消し、ロソクに火を灯して行われました。参加者はお話の会メンバーによるやわらかな語りの世界にひきこまれていました。



下大池区民秋の集い 人権週間講演会



鉢盛中学校開校五十周年

11月21日(土)、鉢盛中学校体育館において開校50周年記念式典が開かれました。半世紀にわたり、伝統と歴史を残した卒業生の数は一万人を超えました。式典には、在校生・卒業生・来賓など800人が出席し、生徒代表として棚橋優生(ゆせい)生徒会長が、「良い伝統と校舎を守り、支えてくれる人や地域のの人に、恥じない学校にしていきたい」と挨拶をしました。記念式典の後にはNHK交響楽団によるコンサートも行われ、50周年を盛大に祝いました。

鉢盛中学校 50周年記念式典

みんなの人権 64

人権学習ばいのちの学習(その)

“受け持ちの患者さんからもらったものは...看護実習どいのちの学習”



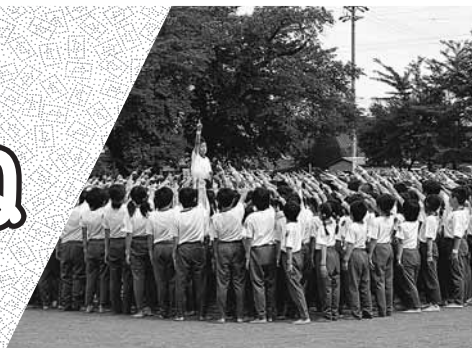
「治りたい」その思いだけがあつたのに 手術中止の悲しさ くやしきプーさんを 掛けてぐっすり夢の中 赤ちゃんもつても癒し系

かつて勤務したU高校には、平成16年3月まで、「衛生看護科」が設置されていました。学科発足以来38年間、3学年の生徒たちは、近くにある総合病院の支援を受けて、週2日、病院実習を続けてきました。そして、千数百名の准看護師が育っていききました。小児科病棟に配属される者、あるいは産婦人科病棟、内科病棟に行く者など、人生の誕生から終末まで、廠(ちか)で崇高な出会いをしている高校生の姿。それは「命への愛を育む」教育実践でもありました。そのありがたい気持ちを、ひとりの生徒は次のように、表現しています。受け持ちの患者さんからもらったものは「生きる意味」と「生きる力」。

生徒たちは、そんな時々の体験を、短歌風の感想文「Nurse Cap」にしたためてきました。先ほどの三首は、そんななかの作品です。地域・病院と学校とが連携しあつて進められた、衛生看護科の「いのちの学習」。そこで培われてきた「やさしく、かしく、たくましい」人間力。それは、ここに学んだ生徒たちを超えて、新しい世紀に生きる全ての若者たちが身につけたい貴重な資質でもあります。そして、この学びは、現在、職業教育は言つに及ばず、キャリア教育、ボランティア教育、人権教育等など、形を変えながら、幼保・小中高大学を問わず、さまざまな教育の営みのなかに引き継がれています。

ところで、今から二年前の冬、突然の脳梗塞発作に襲われた私はU市の山深い八ピリ専門病院で厳しい機能回復訓練を受けていました。そこで甲斐甲斐しく介護浴の世話をしてくれる、若い女性介護士Kさんに出会いました。その彼女が、ある日、「私、ここでアルバイトしながら、市街にある看護学校に通っているんです。つい最近まで地元にあつたような高校併設の看護師養成施設が現在もあればともありがたいのに...」と何気なくつぶやきました。その一言が、U高校での自身の体験と重なって、今も私の脳裏から重たく離れないでいます。(H・27・12 M・H記)

もろいろあったね 15を振り返る



今年も残すところわずか。楽しみにしていた村民運動会は、残念ながら雨のため中止となりましたが、そこはスポーツの盛んな山形村、各種団体・個人が全国大会で熱戦を繰り上げました。
みなさん、今年はどうな一年でしたか？それぞれの一年を振り返っていただきました。

成長した一年



山室 健児
(上大池)

私にとって今年成長を感じることが出来た一年でした。私は少年サッカーのコーチをさせて頂いています。今は六年生を担当していますが、彼らのこの一年での成長がすごいのです。

この年代は「ゴールデンエイジ」と呼ばれ心身の発達が調和し、動作習得に最も有利な時期です。よく、運動神経がないとか、センスがないなんて言葉を耳にしますが、どんな子もそんなことはありません。この年代は努力をしたらただけ伸びる！そんな状況を作り出すことができます。その時重要なのはコーチの存在です。どんなコーチからどんな指導を受け、どんな声をかけられるかで変わると思っています。自分はダメなコーチかもしれないですが、そんな彼らと一年間ともにサッカーをし、ふれ合うことで、私の方が彼らから学び成長しました。サッカーの子どもたち……ごめんね。ありがとう。

じぶんROCKしてます



吉野 民子
(上竹田)

昨年の暮れに夢を見た。障がいのある7歳の息子が夢では青年で、「次は障がい者に生まれてきたいから応援してね」と言った。その日から私は病院めぐりをやめた。6年ぶりにおしゃれもしてみた。

息子の養護学校入学、その副理事、学童開始、体育部員、パート開始と、どれも自信のない中、家族と共に駆け抜けた1年。何でも自分から先に出すを心掛けた。人の評価を恐れるのをやめ、自分の考えを大切に、自分らしく自分の言葉で発信し続けた。気付けば私は気楽に人と付き合える人に変身していた。そんななか、我が家のネコが大ケガをした。うるたえたそこにおいてあたり前としていた自分を深く反省した。こんなに大切だったんだ。他力を感じ、あたり前じゃない今日を、明るく喜んで過ごしていきたい。

感動と興奮の一年



中川 吉久
(小坂)

今年一年、少年野球山形キヨミズの保護者会長として24人の子どもたちとグラウンドを駆け回ってきた。宮前監督のもと、山形村の子どもだけのクラブが長野県代表として夏の全国大会と秋の松井秀喜大会出場という夢のような結果を残すことができた。

小柄な子どもが多いキヨミズが体格に勝る対戦チームにしぶとく食らいつき、保護者も一体となって声援を送り、ついには逆転サヨナラで勝利を掴んだ瞬間、しびれるような感動と一体感が体を包んだ。幾度となくハラハラドキドキの試合を勝ち進み、全国大会という晴れの舞台に立てたことは、子どもはもとより家族全員の一生の思い出となった。野球好きのやんちゃな子どもたちを立派に育てて頂いた監督に感謝。トレセンで応援してくれた地域の方々、行政の方々に感謝。貴重な経験をさせてくれた子どもたちに感謝。感動と興奮をありがとう。

信頼と愛情



小山 健二
(下竹田)

十一月末日で、二十七通の喪中八ガキを戴いた。今までになく多い数だ。ご家族・ご親族様のご心痛を想いながら一年の節を確かに刻まなければと気が引き締まる。

下竹田区の「自主防災会組織」は確かな形となっており、代々引き継がれてきている。しかし、活動として十分機能しているのか問われると危惧を隠せない。連絡班独自の恒例の防災訓練時以外で「安全安心」を考慮した話し合いや講習会それに訓練を計画し実施できていたら感激だ。記憶に新しい長野北部地震、元白馬村堀之内自主防災組織会長の鎌倉宏さんは「犠牲者を一人も出さなかつたのは奇跡だ」と周りの方々は言うけれど、「日頃から気心知り合える近所付き合いだつたからだろう」と当り前のように言っておられた。プライバシーは当然守られるべきことだが、「近所同士の「信頼と愛情」にまで蓋を着せてはならない。

今年 いた 20



山形村データあれこれ

人口	8,795人
男	4,360人
女	4,435人
世帯数	2,914世帯
出生数	78人
死亡数	72人
転入数	274人
転出数	255人

(役場 11月末現在)
村内における人身事故 11件

負傷者 18人
死亡者 0人
(松本警察署 11月末現在)

村内における消防出動 1件

火災 2件
救急 28件
救助 1件
その他 2件
(松本広域消防局 11月末現在)

描くと解けるんだあ



水谷 久志
(上竹田)

小学校1年生です。10個のチョコを大ちゃんとお姉ちゃんでき、同じに分けるといくつずつ? 「あのね、おねえちやんチョコきらいだよ」あらいやあママと。こちらは6年生。4人で分けると四民平等ってこと? おかずとか。うなるほどね。教員を退職し学習塾を始めて5年目です。純粋に学んでくれる生徒さんたちが全国統一小学生テストに挑戦したところ、長野県のベストテンに6つの学年で12人が入りました。私自身は小学校から特に算数で苦労してきましたから羨ましい限りです。問題文の内容をイメージして絵や図に描いて考える。じっくり「わかる。そろそろひろげる」と絵や図をいじっていくと、ほとんどの問題が解けてしまふ。嬉しいもつとできる。そんな生徒さんたちにたくさん出会えたこの1年に感謝です。

楽しかった1年



上條 真歩
(中大池)

今年松本養護学校中学部の生徒会副会長をやりました。「みんなが元気にあいさつを交わし、笑顔があふれる学校になる」を目標にして、大勢の人の前で話をしたりする事もあつたけれど頑張つてやりました。

学校では、ずっと楽しみにしていた修学旅行もありました。東京タワーの展望台に登つたことや、東京デイズニードで仲良しの友達とたくさんのアトラクションに乗ることができて、とてもいい思い出になりました。

他に楽しかったことは、J1に上がった松本山雅の応援をしたことです。アルウィンには2試合しか見に行けなかつたけれど、テレビを見ながら家でも応援をしました。今年見に行った試合は1勝1引き分けて、J2の頃から私が見に行つた試合で松本山雅は1度も負けていません。来年はJ2になつてしまふけれど、たくさん応援に行きたいです。

女バス、10年ぶりの快挙



曾根原とうこ
(下大池)

今年一番は、私の所属する蟻ヶ崎高校女子バスケットボール部が11月に行われた新入中大会で準優勝したことです。決勝まで進んだのは10年ぶりの快挙で山形村の出身者は3名です。(2年生2名)準決勝は前年度王者の松商学園、絶対勝つと信じて挑みました。プレーヤー・ベンチ、応援に駆けつけてくれた先輩や保護者が一体となって戦い接戦の末、勝利をものにしました。決勝戦は田川高校に負けてしまいました。田川には鉢盛中時代のチームメイトが2人いてこのステージで戦えたことにうれしく思いました。

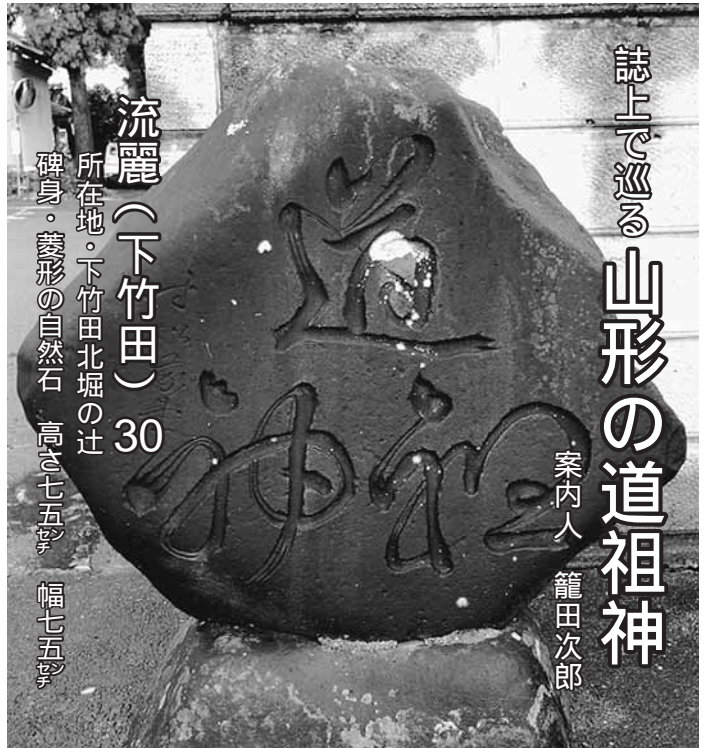
12月の新人県大会では1勝しました。次の試合でチームの力を出し切れず負けてしまい悔しい思いをしました。来年は3年生。最後の大会となります。中大会は優勝県大会は一つでも多く勝つことを目標とし、チームの力を出し切れるよう日々の練習をがんばります。

2015年重大ニュース (全国版)

- 1月・白鵬が歴代最多33回目の優勝
- 3月・県内の世帯半数が停電
- 北陸新幹線開業
- 7月・明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産に
- 8月・「ブルートレイン」の歴史に幕
- 戦後70年談話発表
- 9月・関東・東北豪雨
- ラグビーWC日本が歴史的勝利!
- 10月・マイナンバー通知開始
- 大村智氏、梶田隆章氏がノーベル賞受賞
- 11月・日本郵政グループ3社が一部上場
- 12月・宇宙飛行士、油井亀美也氏がISSから帰還
- * 流行語大賞 「爆買い」
- * トリップスリー
- * 今年の漢字「安」
- * 今年の節目
- 高校野球創設100年
- 第二次世界大戦終結70年
- 阪神タイガース創設80周年
- 阪神・淡路大震災から20年

誌上で巡る山形の道祖神

案内人 籠田次郎



所在地・下竹田北堀の辻
碑身・菱形の自然石 高さ七五センチ 幅七五センチ

下竹田北堀常会の丁字路に二体の文字道祖神が祀られています。今回はまず「流麗」と命名された左側の道祖神を紹介します。

丸い平らな基礎石の上に剣を突き立てた菱形の分厚い川石が建っています。文字は、5角形の頂点に「道」、右下に「祖」、左下に「神」と見事な三角形に配置され、字体は運河の水が穏やかに下るが如く威風堂々の書体で、左横には判読困難ではあるがサインが施されていることを考えると、相当な自信を持った書家の筆

跡と思われます。

「道」の偏はくねくねとした田舎道を表し、「祖」のネ偏の点がハート型に、「神」のネ偏は点が花型にアレンジされていて意表を突かれます。石工さんのアイデアが願人の考えが分かりませんが、人を愛する表現は如何なる時代であっても繊細に生き続けてきたのです。

村には他の地域に比べ多くの道祖神があり、それぞれに多くの情操が先人によって伝えられ守られてきました。

(次回は右側道祖神の紹介です。)

「盆栽」日本の伝統芸術に魅了され

戸沢 繁男さん(小坂)

盆栽歴約30年という戸沢さんは、信州盆栽名品展に初出展で見事SBC信越放送賞を受賞しました。

受賞した作品は樹齢80年のタチバナモドキの盆栽です。「この盆栽は実物という実が見どころの種類で、今年はたくさんの実が付きました。こんなに実がついたのは珍しいことで、盆栽仲間から出展を薦められました。今回の受賞も実の付き方が高く評価されたことだと思えます」



受賞のタチバナモドキと

山形村総合文化祭でも盆栽と山野草の会のコーナーに出展され、受賞時より多少は実が落ちてしまつたそうですが見事な盆栽でした。若い頃は山野草に夢中だ

つたという戸沢さんは40代の時に友人から誘われたのがきっかけで、盆栽のとりこになりました。以来、様々な種類の盆栽を育て腕を磨いていきます。木は正直。年を重ねるとで深みを増していきます。盆栽は若いころからはじめれば良かったと今さらながら感じていきます

戸沢さん夫妻は自然豊かな地に定住しようと山形村を選び、住み始めてから11年たちました。作り上げた庭に案内してもらつと50以上はあるという盆栽と、奥から聞こえる沢の流れる音の空間にこの場所を選んだ理由がわかつたよ

うな気がしました。冬支度で専用の置き場所に格納してしまう鉢もありますが、ほとんどの鉢は庭に飾つたままだそうです。「盆栽は鉢の中で壮大な自然の景色を創り出すものと言われています。厳しい環境下で育てることで、丈夫にもなるし、木が自然の姿に近づくと考えます」

「山形村の若い人たちにも日本の伝統芸術『盆栽』へ興味を持ってもらい、村内の愛好家が一人でも増えることを願っています」



自宅の庭にて

60代後半にして、仲間うちでは若手という戸沢さん「盆栽」は奥が深くいつまでも愉しめる元気の源なのでしよう。

風 (敬称略)

おめでた(子・親)

金目 圭叶 浩一 愛 上大池

横水 凜 勇太 沙也加 下竹田

羽柴 理恵 淳 小坂

おくやみ

中村 康男 91歳 上大池

沖津 勉 94歳 上竹田

松村 亀美子 88歳 上竹田

横水 幸一 90歳 下竹田

大池 八重子 88歳 下大池

あの頃の館報

(昭和40年12月号掲載)



下大池在住の前田愛子さんから「蔵の片付けをしていたら古い館報の表紙を集めたファイルが出てきたので、みなさんに紹介してみても」と申し出ていただきました。

このファイルは、愛子さんの亡くなられたご主人の良治さんが、昭和38年9月号から昭和41年8月号までを保存されています。当時の風景や様子を知ることが出来る大変貴重な資料です。

歳末警戒

—午前一時—

つきさゝる粉雪と 暗い小路や家々の

広がりがかれらを迎える

観衆もない 拍手もない

ただたんねんな巡らのなかで

きびしい一九六五年をくぐりぬけてきた

村の人たちの眠りが

せめてやすらかであってほしいと

さゝやかにねがう

ゆるぎがちな若い人たちの心を

ぐんとつらぬいた消防精神が

村を守り そしてかれらを守る

【写真は下大池地区で】

山形村公民館大会

12月9日(水)、ミラ・フード館ホールミラにて、平成27年度の公民館大会が開催されました。今年、松本市町内公民館館長会長の白木好雄さん、松本市公民館主事の中山勇太さんから、松本市の町内公民館の概要などについてお話があり、続いて笹賀地区二美町2丁目町会公民館長の山田さつきさんから「公民館居酒屋よつてけや」と題した事例発表が行われました。

公民館活動に多くの男性が参加するにはどうしたらいいかとの課題解決の試みとして始まった「居酒屋よつてけや」でしたが、男性参加の増加だけでなく、町内のボランティア活動にもつながった成果などに、参加者も今後の公民館活動に生かそうと発表に聴きっていました。



風になって
駆ける

父の背中を追って

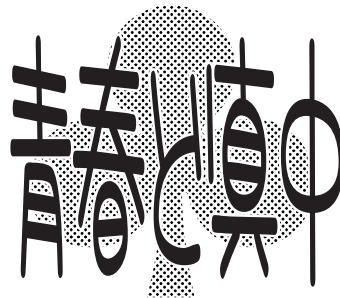
村上 真也さん
明日香さん
裕雅さん(下竹田)



11月14日(土)、15日(日)に行われた長野県縦断駅伝で塩尻東筑木曾チームの監督を務め、アンカーとして走り抜いた真也さん。そんな姿を小さい頃から見続けてきたお子さんたちは、ごく自然に陸上の世界へと入り込んで行つたと言います。陸上をやっていて嬉しいことは自己ベスト更新や表彰台に立つことだそうです。その裏にはタイムが伸びず悩んだり、負けて味わう悔しい思いを乗り越える努力もあります。真也さんには駅伝チームの監督として「何より陸上を楽しんでほしい」との願いがあるそうです。親子で駅伝の禰渡しをすることが3人の今後の目標です。



越 美菜代さん
下竹田
いて座



横水 高盛さん
下竹田
さそり座

山形村
これから
よろしく



現在、地元短大の2年生の美菜代さん。生まれ育つた山形村をこよなく愛し、就職も自宅から通うことのできる松本市内に決まりました。今は学生生活最後の思い出作りのため、友だちと卒業旅行を計画中。アルバイトでコツコツと貯金し、とても楽しみにしているそうです。「家族をはじめとする多くの方に支えられ成人を迎えられたことに感謝の気持ちでいっぱい。これから恩返ししていけたら…」と語るとても心優しい素敵な女性です。

やんちゃは
卒業



専門学校に通い、春から自動車整備の仕事に就くことが決まった高盛さん。「学んだ知識を生かし、自分にしかできない仕事ができたら」と楽しみにしています。趣味のひとつはフットサル。得点を決めた時の嬉しさにハマリ、夢中になっています。「地域の方に掃除などしていただいて最高の村。すごく住みやすい環境です」と周囲への感謝の気持ちも成人を期に生まれてきました。「自覚を持って行動したい」決意を新たに社会へ羽ばたきます。